

# 北海道医歌人会詠草

## 友子の掟

札幌 古屋

統

夕張に親分死して歌志内友子の子分が建てし墓碑あり

第一回取り立て一同十二名を刻む墓碑小さく傾く

埋もれたる友子の掟廃鉱の街見下ろして揆一郎の碑

木漏れ日や無縁仏の慰霊碑に耳当てて聴け地の底の声

戦時下の連行朝鮮坑夫の慰霊碑に僧侶の妻が案内し給う

## 健康長寿

美唄 古村 誠治

今日集ふこれが最後の同期会思ひは盡きず傘寿なる我等

夫々に病を持ちて生き行かむ天寿を願ふ頑固さ隠せず

寝たきりの要介護者に誰ぞなる一日万歩の目標かかく

賑々し「メタボリックシンドローム」叫ぶ声健康長寿を伸ばしくるるか

次々と医療制度の変り来て人の尊厳遠くなり行く

## サミット

札幌 山口 康徳

サミットの会場となりしウインザーそを見むものとなら蝟集す

ものいへば唇寒しとなげく智者<sup>ひと</sup>今に在りせば何と説くらむ

智恵すぐれ悪の限りを尽す奴そを引き降す鈍き善き人

休憩をおへて目ざめし震源地立上れるや元氣ふるひて

のさばれる天災人災 ひしめけりそを乗り切れる英雄<sup>えいゆう</sup>出でよ

## 起上り小法師

札幌 小国 孝徳

二十九回のマラリア発作にも耐へて卒寿になりましたよ南無阿弥陀仏

自らの体を運ぶごとくにも大学通りを二三丁歩む

ラーメンの煮ゆる厨とイチローの映るテレビの前をうろちよ

たはやすく絨壇にまろびて額打てりまさしく起上り小法師ぞ吾は

口争ひして家出づる力なし歓楽街のネオンのほの明かりはも